

濱本 真輔

法学研究科・准教授

【研究】

- ①基盤研究(A)「現代日本における平等をめぐる政策観の実証研究」では、地方議員調査を実施し、データの収集を進めた。
- ②基盤研究(A)「機会と結果の政治的不平等に関する総合的実証研究」では、有権者の代表観に関する分析を進め、次年度の書籍刊行に向けて草稿を執筆した。
- ③基盤研究(B)「政治制度改革後の日本政治についての理論的・実証的な再検討」、基盤研究(B)「小選挙区比例代表並立制が政党・議員・有権者に与えた影響に関する実証的研究」では、リクルートメント研究と政治資金研究のレビューを進めるとともに、国会議員インタビュー(11回)も実施した。

以上の成果の一つとして、共編者を務めた『政務調査会と日本の政党政治：130年の軌跡』が吉田書店から2024年4月に刊行される予定である。同書に序章、第9章、第10章、終章(第9章以外は共著)を寄稿した。他に、日本比較政治学会の編集する辞典に寄稿した。政治資金に関する論考を『中央公論』に寄稿した。

日本選挙学会、日本政治学会が主催する分科会でそれぞれ司会者を務めた。

【教育】

- ①法学部の「政治学原論」(4単位)、「演習1a,1b,2a,2b」(各2単位)、全学共通教育の「学問への扉」(2単位)を担当した。学部演習では受講者にペーパーの執筆を義務付け、添削指導した。
- ②法学研究科の「政治学概論」(2単位)、「政治学・政治学特殊講義」(2単位)を担当した。政治学特殊講義では議会、政党、選挙をめぐる研究動向について、受講者の理解を深めた。また、両科目において、受講者にペーパーの執筆を義務付け、添削指導した。
- ③後期課程の院生を対象とした研究報告会(月1回)で進捗報告を受けつつ、個人面談も重ねて研究指導を行い、投稿論文、博士論文の執筆を促した。

【管理運営】

全学委員会の委員として、入試広報小委員会委員を務めた。

部局内委員会の委員として、法学部教務委員を務めた。オープンキャンパス、時間割の作成を中心に担った。

【社会貢献】

日本政治学会の編集委員を務め、学会誌『年報政治学』の刊行に向けて準備を進めた。

日本選挙学会の企画委員を務め、分科会の企画など、研究大会の遂行に尽力した。

日本選挙学会の編集委員を務め、学会誌『選挙研究』の刊行に向けて準備を進めた。

日本公共政策学会の学会賞選考小委員会委員を務めた。

他に、議員や政党のあり方に関連し、朝日新聞、関西テレビ放送、東京新聞、毎日新聞などの取材に対応し、情報を提供した。また、共同通信社の実施するポートマッチプログラムの専門家調査に参加した。